



「余計」

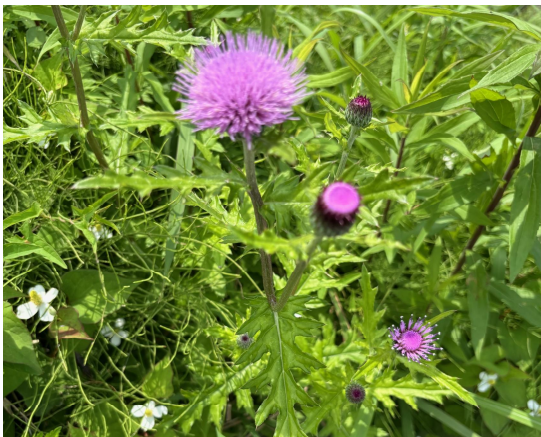
余計、よく使われる言葉。
「いつもより余計に食べてしまった」
「余計な苦勞をすることになった」
「余計なことまで話すなよ」
「余計なお世話だ」
「余計痛くなったじゃないか」……



(マルバウズキ 宮崎市柏原 2025.5.17)

言うまでもないが、物が余っていること、普通より分量の多いこと、必要な度を超えてむだなこと、なおさらなどの意味で使っている言葉。

言葉のイメージとしては、ものが余ることはいいことだと思うが、マイナスイメージが強いように思う。



(毎年同じ場所に咲くアザミ 宮崎市 2025.5.12)

何気ない話をしていると、つい言わなくてもいいことを言ってしまうことがある。

相手が言った内容に対する捉え方を聞いて、その人が指摘していないことをつい言いたくなるのである。

その話の流れにおいては、話さなくてもいいこと。場合によっては、流れを止めてしまったり、悪い印象を与えてしまったりする余計な指摘である。



(アジサイの花芽 延岡市緑ヶ丘 2025.5.19)

まさに、余計な一言。そうやって、相手の印象を悪くしてしまう一因になったり。相手の話を折ってしまうことにもなりかねない。

どうして、人というのは相手の話を聞くことに専念できないのだろう。自分の話を聞いて！と思ってしまう気持ち。この気持ちをコントロールするのが難しいのだ。



(ブーゲンビリア 延岡市緑ヶ丘 2025.5.20)